

2 経済規模と循環

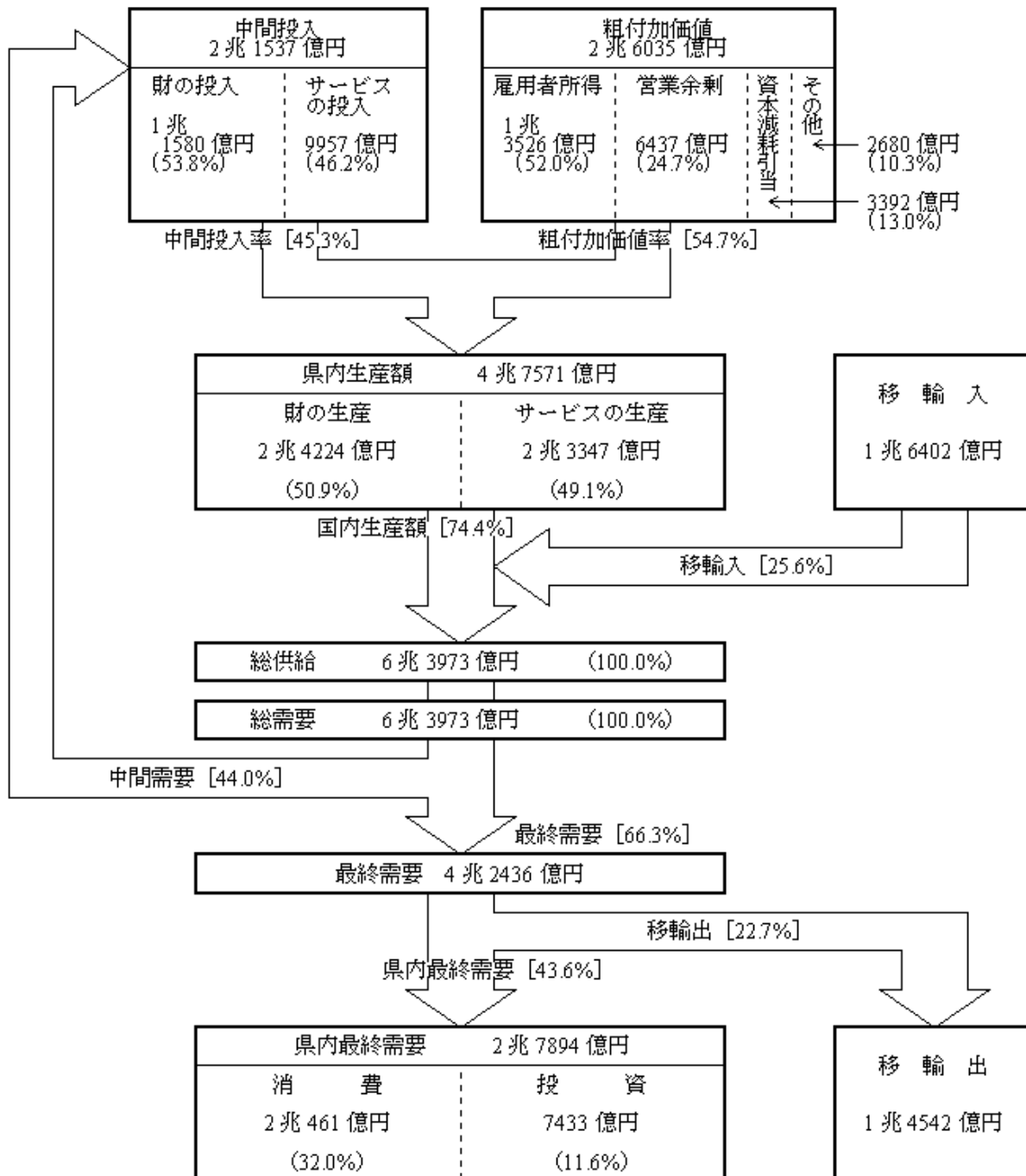
平成7年の徳島県の経済を見てみると、生産額は4兆7571億円であった。

各産業が生産活動のために投入した財貨・サービスは2兆1537億円で、他に2兆6035億円の粗付加価値(雇用者所得・営業余剰等)を生み出した。

また、生産活動の原材料として2兆1537億円が消費された他に、県内で消費者が購入した財貨・サービスは2兆7894億円、生産された財のうち1兆4542億円が県外へ移輸出された。

総需要は6兆3973億円であり、県内生産で賄いきれなかった1兆6402億円は県外から移輸入された。

図1 平成7年(1995年)産業連関表からみた財・サービスの流れ

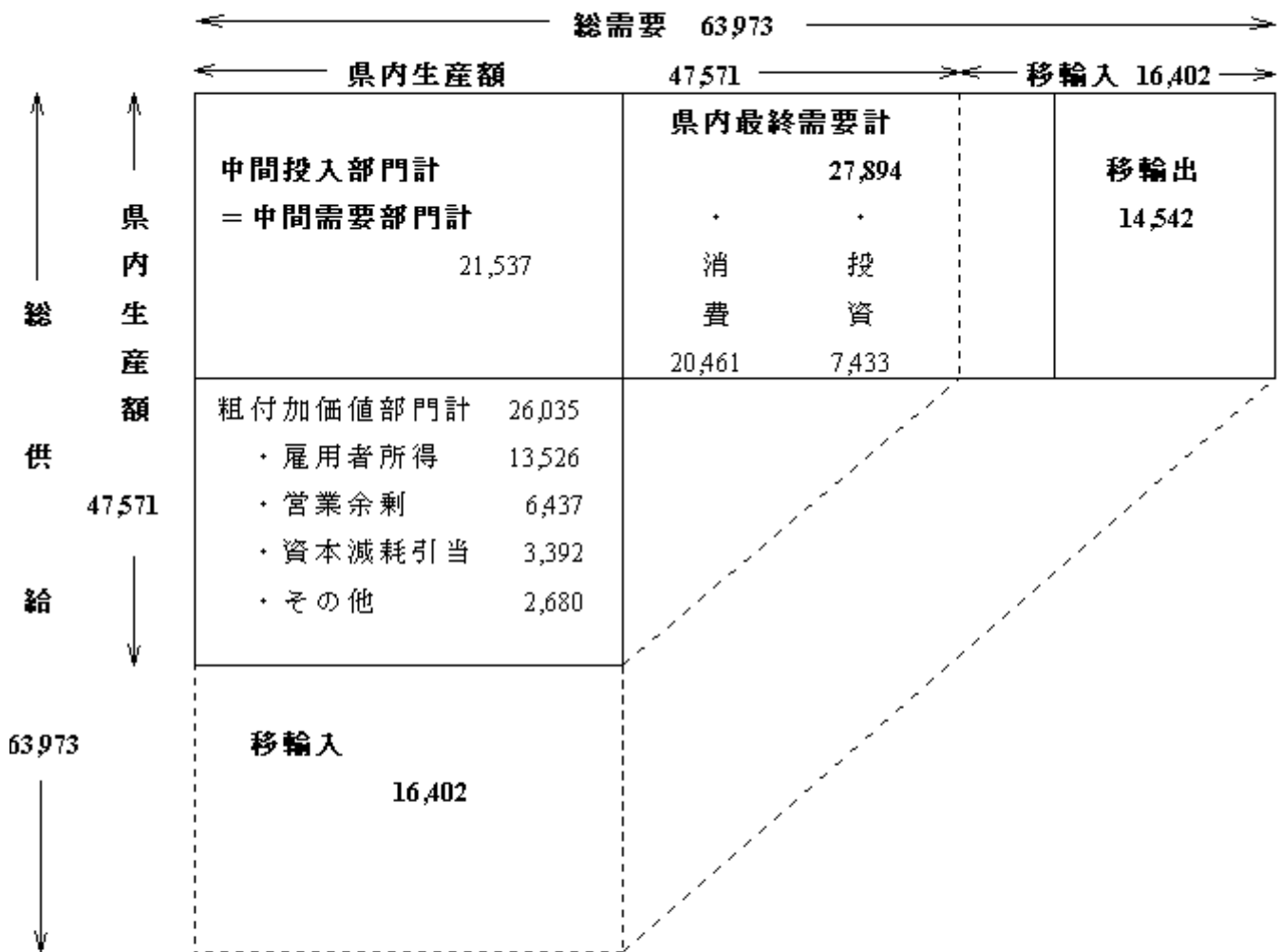


(注) 1 県34部門表による。「財」は01～20, 33, 「サービス」は21～32, 34の合計である。

2 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。

3 ここで「消費」とは、家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出をいい、「投資」とは県内総固定資本形成及び在庫純増をいう。

図2 平成7年産業連関表からみた徳島県の経済 (単位：億円)



縦のバランス式

- ・ 総供給 = 生産額 + 移輸入
- ・ 生産額 = 中間投入額 + 粗付加価値額

横のバランス式

- ・ 総需要 = 生産額 + 移輸入
- ・ 生産額 = 中間需要額 + 県内最終需要 + 移輸出 - 移輸入